

2021年 公益社団法人岸和田青年会議所

第63代理事長 泉本 真宏

理事長所信

スローガン

「 挑戦 」

～できるかどうかではなく、やるかやらないか～

基本方針

岸和田の将来を担う青少年の健全育成
岸和田の経済を牽引する人財の育成
会員の資質と魅力の向上
岸和田の未来を創造する会員の発掘
岸和田の魅力の創造と発信

はじめに

2020年、世界は新型コロナウイルス感染症の大流行が起こり、世界、そして日本社会に大きな影響を及ぼしました。日本経済は大きく後退し、GDPはマイナス27.8%とリーマンショック後のマイナス17.8%をはるかに超える戦後最大の落ち込みを記録しました。また、緊急事態宣言や外出自粛による影響で個人消費は落ち込み、日本経済がコロナ前の水準に回復するのは2024年ごろになると予測されております。新型コロナウイルス感染症の研究は日夜なされ、少しずつ解明に近づいてはいるものの、まだまだ注意深く見守っていく必要があります。今回のパンデミックは私たちの生活にも大きな影響を与え、特に岸和田だんじり祭りが終戦直後の1945年以来、75年ぶりの中止となり、岸和田の社会や経済に大きな影響を与えました。また、生活様式や働き方にも変化が生じ、夏場のマスク着用やソーシャルディスタンスの確保、時差出勤やテレワークなど、柔軟な対応が求められています。私たちは社会の一員として、守るべきことを守りながらも、歩みを止めることなく、「今」・「できること」・「必要とされること」を見極め、何事にも「挑戦」する心を持って行動していかなければなりません。これまで、先輩諸兄姉が育んでこられた思いや志を引き継ぎ、活気に満ち溢れた岸和田を創造してまいります。

岸和田の将来を担う青少年の健全育成

外出自粛要請等により、子供たちが家族以外の「人」と接する機会が大幅に減少しました。今後は徐々に戻るものと思われますが、子どもたちに多くの「人」と関わりを持つことは、自己肯定感や意欲、コミュニケーション能力を育む上で、非常に有効であるとの調査結果があるように、子供のころに多くの経験を積むことが、その後の人生を変えると言っても過言ではありません。「ダイヤ」は「ダイヤ」でしか磨かれないように、「人」もまた「人」でしか磨かれません。子供たちが互いを思いやり、切磋琢磨しながら成長して行ける事業を展開してまいります。

岸和田の経済を牽引する人財の育成

明るい豊かな社会を構築する上で、経済の発展は必要不可欠であると考えます。経済が元気になることで、活気が溢れ、笑顔が溢れる好循環が生み出され、さらに発展が加速していくものと考えます。経済を牽引する人財が集い、互いに切磋琢磨することで競争力が生まれ、新たな発見や新たな出会いから事業の発展や新規事業のチャンスを生み出す事業を展開してまいります。

メンバーの資質と魅力の向上

魅力ある団体とは何かと考えた時、その団体の活動にどれだけ興味をもってもらえるか、社会に与える影響はどれほどのものなのかということではないかと考えます。団体における活動は事業であり、その事業はメンバー全員で作りに上げていくべきものです。事業構築に真剣に取り組むことでメンバー一人ひとりの資質は磨かれ、魅力が向上し、青年会議所の魅力の向上にも繋がります。常に切磋琢磨できる環境を提供し、一人ひとりの資質と魅力を高めてまいります。

会員拡大の実施

青年会議所は20歳から40歳のメンバーで構成され、単年度制で役職が変わる団体です。単年度制であるがゆえに、理事長の方針によって性格が異なり、メリットもデメリットも合わせ持ちますが、数年の間に様々な役職について経験を積むことができ、自分自身の幅が大きく広がる数少ない団体です。より多くの仲間と議論を交わし、自己の成長につなげるため、しっかりと会員拡大に努めてまいります。

岸和田の魅力の創造と発信

2021年、岸和田で初めてとなる大阪ブロック大会岸和田大会が開催されます。大阪府内から多くのメンバーが一堂に集うJC運動発信の場となります。行政や各諸団体と連携を取り、岸和田の魅力を余すところなく広く発信するとともに、岸和田の新たな魅力を創造し、大阪における岸和田の存在感を示してまいります。

むすびに

今年度はスローガンに

「挑戦」～できるかどうかではなく、やるかやらないか～

と掲げさせていただきました。このコロナ禍において、生活様式が大きく変化し、今まで当たり前のようにできていたことができなくなる、今までの常識が常識でなくなる、まさに時代の転換点を迎えています。こんな時だからこそ時代を先読みし、常に前向きに物事を捉え、できるかどうかで悩むのでは無く、常に挑戦する、最後までやり抜くという気持ちを持って、メンバーとともに一年間邁進してまいります。